

会社の魅力アンケート

各テーマに沿って意見をだしてもらいました

———2025年 7月集計

採用チーム

01 社会背景・業界の魅力



社会背景

社会基盤を支える使命

- ◇情報通信・電気・防災どれも生活に欠かせない仕事で、社会的に必要とされていることを感じられる
- ◇生活とは切っても切り離せない分野
- ◇どの建築物にも必要な設備と技術で、淘汰されない業界だと思う

展望

増える需要に応えつづける

- ◇建築業界は今後低迷していくと思われる中で、弱電設備、特にネットワークおよび通信関係の需要は増加の一途をたどり、ニーズにこたえる準備はできている
- ◇情報通信の発展スピードは目を見張るものがあり、今後必要不可欠であることに間違いはない

02 事業内容の魅力

事業を3つの視点で徹底説明

顧客から見た魅力 1

弱電業のパイオニアとして

顧客から見ると設計・施工・保守まで一貫して行い、アフターフォローや改修工事をはじめあらゆる工事に対してまとめて施工依頼をかけられるメリットは大きい。

他社から見た魅力 2

武器はオール弱電の看板

弱電設備のすべてをエフシステム1社でできることは、競合他社との大きな差別化となっている。
さらに各設備に得意分野はあれど、社員が平均的にどの設備も施工できる均等なスキルも大きな武器だ。

社員から見た魅力 3

安定経営×成長

商社・メーカー・大手元請け会社などが顧客のため、仕事が安定的にある。
さらに利益率の高いエンドユーザーも抱えており、経営環境は非常に良い。

03 仕事内容の魅力



エフシステムだからこそ、と思える瞬間。 やりがい・成長・達成感は…

経験値を底上げする現場

新築物件で施工する“建物”は商業施設・ホテル・マンション・教育機関・病院・物流倉庫・工場とさまざま。取り付ける機器が同じでも建物構造が異なるので経験値があります。

1 現場で磨かれるスキルと達成感

多ければ1現場で6～7つの設備の施工を行います。多岐にわたる知識とスキルが欠かせませんが、だからこそ、現場を収めた時には間違いなく成長や達成感が得られます。

機動力がある班数

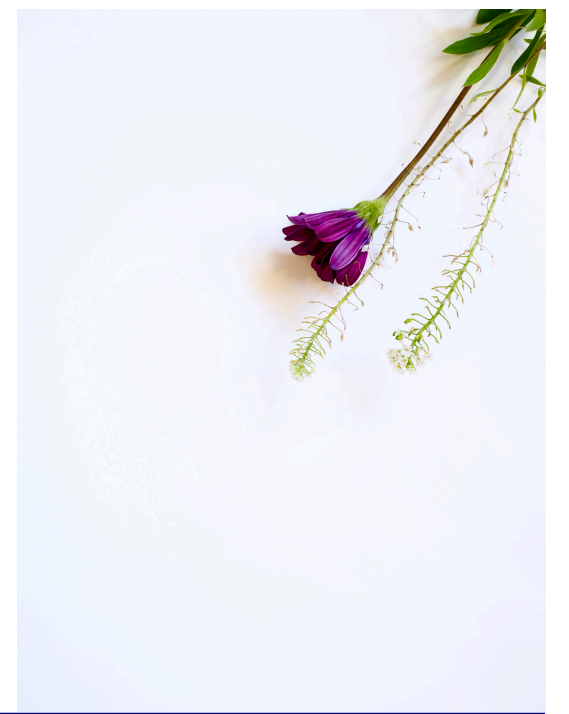
班数が多く、急な事案が発生しても機動力でカバーでき、社員感の“協働力”が光る。現場で欠かせない“協働力”を習慣化するため社内勉強会でくりかえし学び、思いやりの姿が根付いています。

教育への熱意

教育研修は決して新人だけのものではない。社内勉強会を毎月実施したり、教育する側の“教育”を重要視したり熱意を持って取り組んでいる。

04 組織風土・人・理念・戦略

経営者の想いが従業員に感じ取れる職場



1. 組織風土

- ▷社員全員で会社のことを考えながら仕事をしている
- ▷個人の負担を減らすよう、社員全体の意識がある

2. 人

- ▷人を大事にすることを会社全体で大切にしている
- ▷今の実力を踏まえて少しずつ仕事に慣れさせてもらえるため、日々の成長を実感できる

3. 理念

- ▷転職前は部署ごとに張り合っていたが、エフシステムでは穏やかな会話と情報共有ができ、とても働きやすく企業の変革にも反映されている

4. 戦略

- ▷業界は特に人材不足
しかし社内教育に注力し「人が根付く会社」に取り組み、大事に育てたいと思っている

05 条件・福利厚生



定着率が高い理由

見てもらえている安心感と独自の支援

1

残業・休日

「少ない労働時間で沢山のお給料」を掲げ、残業時間 前年比30%減 達成。

残業手当の支給率、閑散期の早上がりなど社内改革を進めている。

2

キャリアアップ

年次に応じて取るべき資格が明確である。

国家資格や技能講習等の取得費用支給や取得祝いを実施しキャリアアップを支援している。

3

家族

急な私用や家庭の事情を汲んで、会社全体で協力してくれる。

従業員家族同士で子供服のリユースをしたり、パパ同士でこども相談をしたり、イクメンも在籍。

4

独自の福利厚生

暑いときはかき氷手当！
寒いときはカイロ支給！
会社からお中元やお歳暮が届く♪

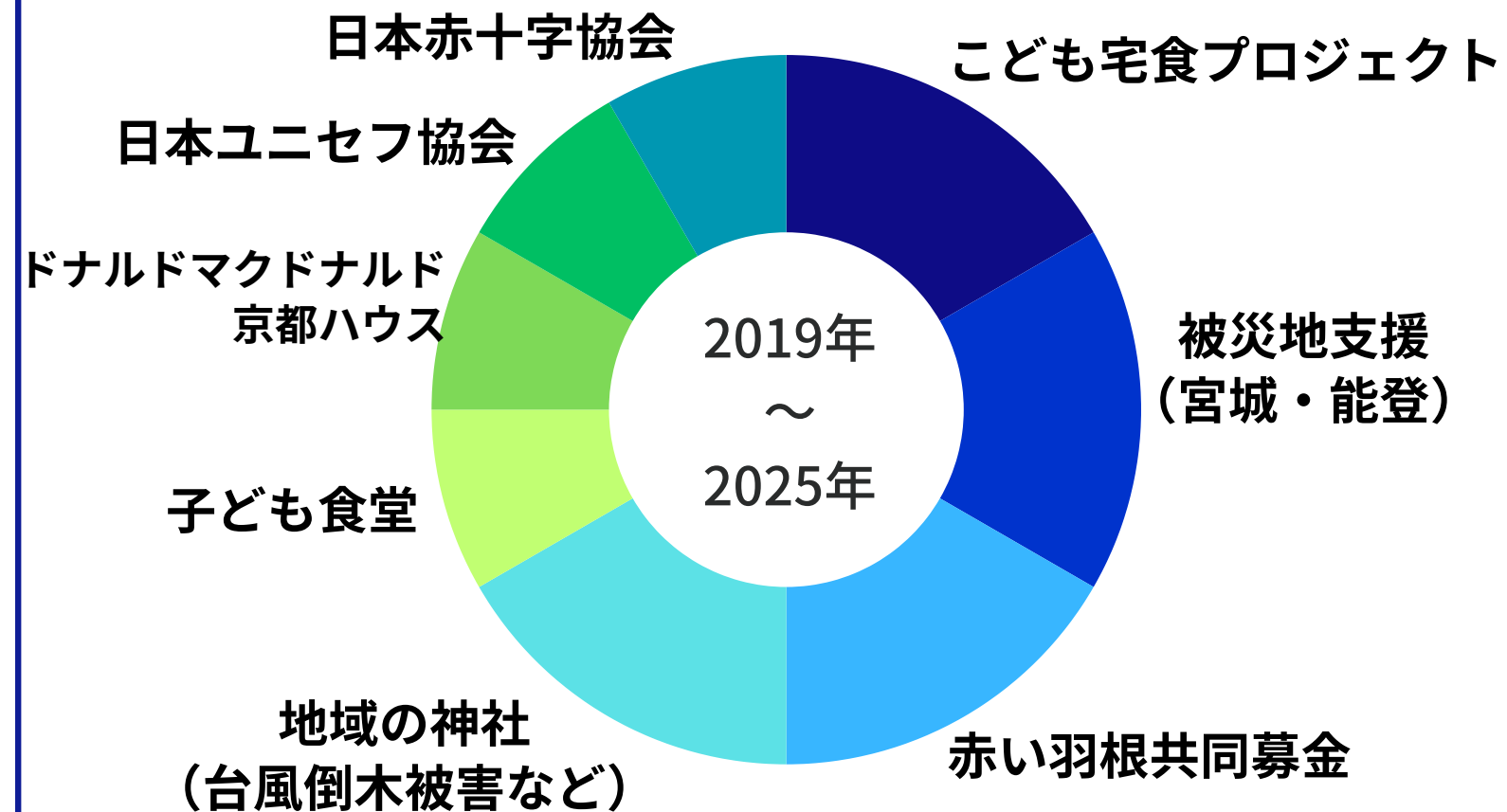
社員旅行やお食事会で親睦を深める遊心会の活動では、新入社員の歓迎会も行いました！

06 社会貢献

社会の変化に応じて“できることを”考える



募金活動 支援先



国際支援から身近な支援へ

満足にお腹いっぱい食べれない今の日本の子供たちに目を向け、支援先を国際支援・被災地支援にとどまらず、地域の子たちの支援に活動を広げています。

社員の声

- ▷ 会社の寄付と社員の募金活動がある
微力だが社会支援の気持ちも大事にしている
- ▷ 個人では気が付かない社会貢献を、会社を通してできる
- ▷ 子ども食堂に募金を持参した際、社会の課題や現状を聞かせてもらい、だからこそ大きく感謝されたことにも驚いた
- ▷ 少しずつ何かの募金に参加できればと思っています